

発行者番号・略号	教科書名	記号・番号
9 開隆堂	<b>New Discovery English Communication III</b>	コⅢ328

## 1 内容

- ・「関係副詞の非制限用法」などⅡで扱った定着が弱い傾向のある文法事項を扱っており、学習者が高等学校における学習内容をくり返し学習できるよう配慮されている。また、「the 比較級 ～, the 比較級 …」など英語の書籍や記事を読むなどの社会生活において活用できるような表現や文構造を多数扱っている。
- ・題材は、「異文化理解」「コミュニケーション」「環境保護」「自然科学」など、生徒にとって身近で、興味深く、知的好奇心を喚起するものを取り上げている。
- ・Work Together!や Action!など、英語を使って行うコミュニケーション活動を扱う箇所が随所に設けられており、英語で授業を進めやすい構成となっている。

## 2 分量・構成

### 【全体構成】

- ・巻頭に 5 か所の Reading Skill を配置し、基本的な読解スキルを確認したうえで、通常課の学習に入れるように工夫がされている。
- ・生徒の学習段階に配慮して、通常課は大きく分けて 2 つのパートから構成されている。
- ・Part 1 (Lesson 1～5)：各課はそれぞれ 3～4 のセクションに分かれ、各セクションは見開きで構成されている。また、各課はコミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱと巻頭の Reading Skill 1～5 で培った読解スキルを用いて読解力を鍛える工夫がされている。特に、1 セクションあたり 140～190 語程度の英文を読み、左ページで学習した英文内容を右ページと課末の練習問題を通じてくり返し確認できるように工夫されている。
- ・Part 2 (Lesson 6～10)：Reading Skill と Part 1 で培った読解スキルを活用しながら、まとまった量の英文を読むことによって、読解の応用力を身につけることのできるように工夫されている。また、本文を読んだ後に課末で課全体の内容を確認することができるように工夫されている。
- ・空港のターミナルでの会話 (Listening Practice 1), 広告 (Reading Practice 1), 外出先で体調が悪くなったときのやりとり (Action! 3) など、実際の社会生活を想定して、英語が活用できるように場面・状況設定が工夫されている。

### 【導入部】

- ・Get Ready：本文導入のための英語による設問が用意されており、動機づけの工夫がされている。

### 【本文および課末】

- ・Overview：本文の概要把握のための問題。学習者が効率的に本文の概要を把握できるように工夫されている (Part 1)。
- ・Reading Skills：読解スキルの確認問題。コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱと巻頭の Reading Skill で培った読解スキルを英文の中で実践的に活用できるように工夫されている (Part 1)。
- ・Check It!：英語の音声を聞いて本文内容の正誤を問う問題。Part 1 では各セクションに、Part 2 では課末に同コーナーを配置することにより、学習した本文の内容・要点の理解を確認できるように配慮されている。
- ・Comprehension：本文の内容を整理した図表などを完成させる問題。学習した読解スキルを活用しながら本文の要点やパラグラフ構成、論理展開などに着目し、それらに応じた英文読解を実践できるように工夫されている。
- ・Sum Up!：本文の要約文の穴埋め問題。本文の概要や要点をとらえ、表現にまで高めるための工夫がされている。
- ・Vocabulary：本文ページの脚注で扱った熟語や重要表現の確認問題。本文ページで学習した熟語や重要表現の確実な定着を図れるように工夫されている。
- ・Structure and Expression：新出文法事項の簡潔なまとめ。コミュニケーション能力を支えるための文法指導に有用となるように工夫されている。
- ・Practice!：新出文法事項の練習・確認問題。パートごとにそれぞれ異なる問題形式となっている。多様な問題形式に慣れさせることで、新出文法事項の理解と定着を図れるように工夫されている。
- ・Work Together!：各課の内容に関連したコミュニケーション活動。スモールステップを踏んだ構成となっているので、無理なく自然なコミュニケーション活動を行うことができる。
- ・Check It Again!：本文全体の内容・要点の理解を確認する問題。本文の内容に関する複数の英文を読んで回答する正誤問題または適文選択問題を通じて、確実に本文の内容理解を深められるように工夫されている (Part 1)。
- ・Trivia：題材関連の興味深いミニクイズ。本文内容について気軽に触れることができ、活気ある授業ができる (Part 2：Lesson 8, Lesson 10)。
- ・本文脚注：熟語や重要表現の意味の提示に加えて、本文中の代名詞や語句について具体的内容を問う問題 (Q) や、英問英答問題 (Q&A) があり、本文で読み取った内容を確実に理解できるように工夫されている。また、題材内容に関するミニ情報を扱うコーナー (info) があり、本文を読みながら題材理解を深められる工夫がされている (Q&A と info は Part 2)。

## 【Reading の課】

- ・ **Warm-Up** : 複数の問いに答えることにより、読解のポイントをあらかじめ押さえてから読むことができる。
- ・ **After Reading** : 内容理解を深める問題に加え、自分の考えや意見を書く活動が含まれている。読んだことに基づいて自分の考えを書くことができるので、表現力の育成に効果的である。

## 3 体裁・表記など

- ・ イラスト及び写真は全てカラーで、内容理解の一助となるように配置されており、学習者に配慮されている。
- ・ 行間、字間は適度な広さで読みやすい。

## 4 その他

- ・ **Action!** : 全体で4か所に配置されている。スモールステップを踏んだ構成となっており、無理なく実用的な表現を用いたコミュニケーション活動が行える。
- ・ **Listening Practice!** : 全体で4か所に配置されている。ネイティブ・スピーカーと同じスピード・発音で英語が話せるようになるために、巻末にスクリプトを掲載し、一度聞いた英文を CD の後について言えるまで練習する活動を取り入れている。
- ・ **Reading Practice!** : 全体で2か所に配置されている。「コンサートの広告」を題材として、スキミングなど、目的に応じた読み方の活動や、説明文を題材とした未知語の推測などの活動が設けられており、読む力をつける工夫がなされている。
- ・ **付録** : ①には Listening Practice に対応するリスニングスクリプトが、②には各課の内容や題材に関連の深い語句のまとめが、③にはディスコースマーカーのまとめが、④には本文脚注の熟語や重要表現を用いた例文と日本語訳がそれぞれ掲載されており、学習者が既習事項の効率的な復習と、入試に向けた読解力・語彙力の向上を確実に図れるように配慮されている。